

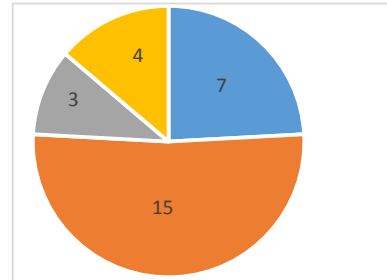
安全管理研修アンケート結果

20191001

1. あなたが安全管理研修に参加した理由を教えてください

① 知人に勧められて	7
② 興味があったから	15
③ 以前参加して参考になったから	3
④ その他	4

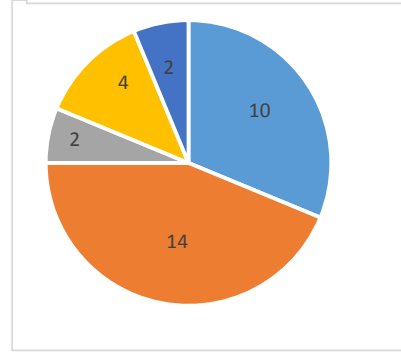
↑活動に必須
上司の強制
職場の支配人の薦め



2. あなたはこの研修会をどのようにしてお知りになりましたか

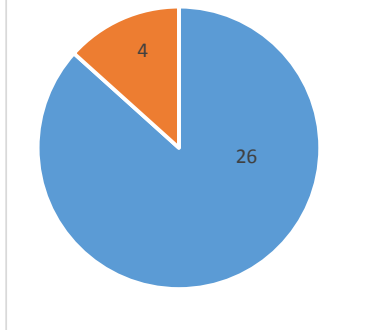
① チラシで	10
② 知人から聞いて	14
③ メーリングリストで	2
④ 昨年も参加したので	4
⑤ その他	2

↑共催団体のスタッフ



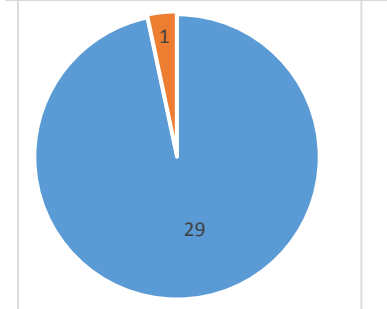
3. 会場はいかがでしたか？

① よかった	26
② どちらともいえない	4
③ あまりよくなかった	0



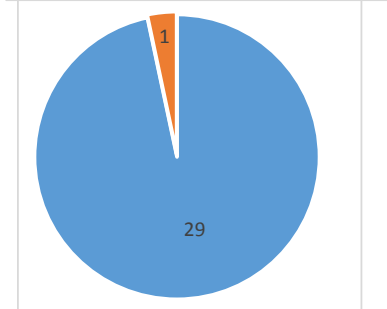
4. 4. で③とお答えになった方はその理由をお教えてください

① 公共交通が使いにくい	1
--------------	---



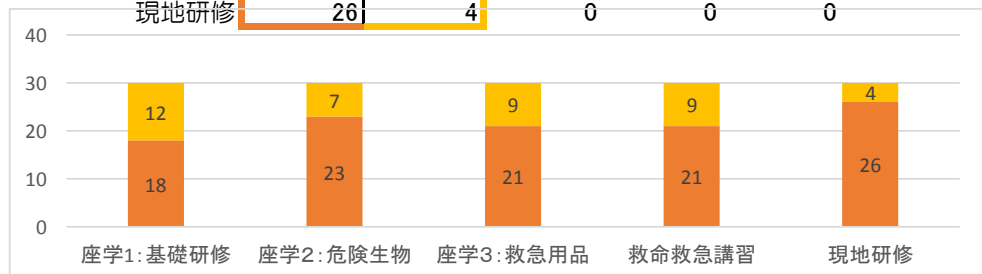
5. 今後もこのような研修会に参加したいと思いますか？

① はい	29
② いいえ	1



6. 今回の研修会についてお答えください。

	①とても参考になった	②まあまあ参考になった	③どちらともいえない	④あまり参考にならなかった	⑤全く参考にならなかった
座学1：基礎研修	18	12	0	0	0
座学2：危険生物	23	7	0	0	0
座学3：救急用品	21	9	0	0	0
救命救急講習	21	9	0	0	0
現地研修	26	4	0	0	0



・現地研修を行ってみて、いざというときに何をすればよいのかが自分の中で曖昧なのをとて感じました。

落ち着いて周りや対象の状態をチェックすることで何をすべきかが見えてくるのだということをも多少でしたが感じることができました。

トラブル時の指針が見えてきたと思います。

・私どもの会は月1回午前中で終了する程度ですのであまり深く考えていませんでした。

ただ参加者が中高年とその孫という方が多く、安全について少しでも対策を考えていかなければならないなあ、と思いました。

・定期的に受講して、最新の知識・情報を入手すべきと感じました。数年前に受講し大変参考になり活動時に毎回思い出して活用しています。

参考になる事例集などがあるとありがたいと思いました。

法的な話も参考になりました。

・大変参考になりました。良い経験をしました。

いろいろな人とできたので良かったと思います。また参加したいです。

・濃い内容でした。危険生物はとて良かった。

午後の実技も大変ためになった。

救急体験も忘れていくことが多いので毎回受講することでためになった。

参加者の実体験の話をきけるのも有用である。

・先生の参加者をひきつけ、飽きさせないテクニックが勉強になりました。

実際業務で野外活動はあまりしないのですが、他の場面にも汎用性のある内容で、今後の役にたちます。

今後の要望：食に関する安全管理。衛生上触ってはいけないもの。

・繰り返しが大事なのでまた実施して欲しい。

次からは何か項目ごとに重点化して欲しい。

・人工呼吸、AEDの研修は何度もやっている確認ということでは今日のような講習でも良いが、もっと様々な場面を想定して行ってみたい。

機会があればもっとガッツリと講習を受けてみたい気もするのですが、なかなか…。

マメに受講して本日程度のことは確実にできるようにしたいと思います。

・たまたまチラシを見てこの研修を知ったのですが、来て良かったです。

・今後の野外活動で参考になります。

・最初から同じチームの方が分かり易いのかな、と思いました。

・このような取り組みが継続的に行われるとスキルアップしていけると思うのでぜひ続けていただきたいです。

・救急対応はもう少し時間があっても良かった。

・緊急判断、通報シートおよびその情報源を知ることができた。

・とてもわかりやすく面白い説明&実習でした。

職場でのリスク回避・管理があまりできていないので役立てたいと思います。

・旧年のテキストを持参したため、講義とテキストのページ数が合わなかった。内容が変わっていた。

・普段から不勉強なので勉強になるものばかりでした。初心者でも分かり易いです。

新しい話題、情報を織り交ぜてのワークショップは楽しかったです。

有料でも良いかと思いました。

・ためになりました。最低でも年に1回思い出す機会があると良いと思いました。

救命救急で消防士さんが言ったこと、

○形態の電波を事前に確認しておく。○場所を説明できるようにしておく

のも非常に大切なポイントと思いました。

・SDGs「4」質の高い教育をみんなに!!」目標としての「グローバルシチズンシップ」の教育として最も有効な自然による教育において、安全を担保しつつリスクセンサーを鋭敏にすることが重要。

・現地シミュレーションでは判断を迷うこともあり、やはり事例を数多く経験することは有効かと感じた。

危険予測のお話の中ででてきた「雨より雪より風が嫌。」というのは野鳥の活動などと共通。鳥も風が嫌。

知識と経験に加えてそうした自然から学び取れるような「感覚を研ぎ澄ます」ことも指導者側には求められるのかも。

理屈じゃなく危なそうに気づくこと、判断することに到達できるとより良い。

・農業体験・ボランティアの実施を考えていたので安全管理を考えるきっかけになった。

西和賀で研修を実施して良いのであれば現地の人々に声をかけて実現可能性を探ってみますが。

- 毎年安全管理研修を受講していますが、実際経験することがなく（ないことは良いことです）忘れていることも多く知識のブラッシュアップ、新たな知識の更新となりました。

慣れてしまうことは良くないと思うので意識を新たにして活動していきたいと思います。

昨年の遠野に引き続き、今年度の県立博物館での研修、楽しく学ばせていただきました。

細かな具体例を説明していただきありがとうございました。

- スタッフトレーニングについてもっと知りたくなりました。

- 緊急判断、通報使途はすごくわかりやすく、職場でも利用したいと思いました。

- またこのような講習があるのであれば参加したい。

パンフレットを入手しづらいので連絡をいただけるとありがたいです。

- 野外活動以外でも通常の体験学習においても参考になるものでした。

現地研修のときのグループ分けや動き方が分かりにくかったのだけちょっと気になりました。

救命講習の受けたのは3回目でしたが微妙に昔受けたのと違っていたし何回か受けることでより記憶できると思います。

- 大変充実した研修でした。ぜひ来年度以降も続けていただきたいです。